

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	1	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	2	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語 1
	2	訓読み・送り仮名・熟語 2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方 1
	6	漢字の意味・使い方 2
	7	漢字の意味・使い方 3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き 1
	11	特殊な漢字の読み書き 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	3	
授業科目	ビジネス文書表現基礎 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ビジネスにおける文書表現力を身につける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	場面や文脈に応じて適切な表現を選ぶ能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	事実の理由や目的
	2	順番・手段・付帯状況
	3	品詞の修飾
	4	文の接続①
	5	考えを伝える表現
	6	継続と瞬間
	7	意志表現・無意志表現
	8	否定の意志・状況
	9	場所
	10	比較・客観性
	11	強調
	12	名詞修飾
	13	終助詞による表現の変化
	14	間接受身
	15	指示・命令／許可・放任
	16	誘発
	17	働きかけ
	18	自分の意志と他人の意志
	19	感情・思考
	20	感謝
	21	依頼・許可
	22	意志の有無
	23	過去の習慣
	24	状況の説明
	25	様子や状況を受ける・話題の提示
	26	発見・きっかけ
	27	過去の出来事
	28	事情の説明
	29	主体と対象の距離
	30	敬語表現
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	4	
授業科目	ビジネス文書表現基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	日常の場面とビジネスの場面で使用する語彙の違いを学ぶ	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	場面や文脈に応じて適切な語彙・表現を選ぶ能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	行為
	2	変化、動き
	3	動詞化
	4	開始、完了
	5	長文問題
	6	人間
	7	抽象
	8	社会
	9	衣食住、自然
	10	長文問題
	11	精神
	12	物事の様子
	13	長文問題
	14	状態、程度
	15	長文問題
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	5	
授業科目	ビジネス文書表現実践 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	幅広い場面で使われる言葉を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	場面や文脈に応じて適切な語彙・表現を選ぶ能力を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	漢字
	2	漢字
	3	語彙
	4	語彙
	5	文法
	6	文法
	7	文法
	8	読解
	9	読解
	10	読解
	11	読解
	12	聴解
	13	聴解
	14	聴解
	15	聴解
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	6	
授業科目	ビジネス文書表現実践Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	幅広い場面で使われる言葉を理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	場面や文脈に応じて適切な語彙・表現を選ぶ能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	漢字
	2	漢字
	3	語彙
	4	語彙
	5	文法
	6	文法
	7	文法
	8	読解
	9	読解
	10	読解
	11	読解
	12	聴解
	13	聴解
	14	聴解
	15	聴解
	16	漢字
	17	漢字
	18	語彙
	19	語彙
	20	文法
	21	文法
	22	文法
	23	読解
	24	読解
	25	読解
	26	読解
	27	聴解
	28	聴解
	29	聴解
	30	聴解
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
科目番号	7		
授業科目	自動車概論		
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴		
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、基本的な自動車の知識・整備技術を身につけるための指導を行う。		
学部・学科	国際コミュニケーション学科		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
単位数	4単位		
授業回数	40回		
授業概要	基本的な自動車知識及び自動車専門用語を覚える		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習		
達成目標	自動車に関する基礎知識を身につける		
教科書	プリント・オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	概要	31 ラジエーターの役割②
	2	ボディの種類①	32 エンジンオイルの作用①
	3	ボディの種類②	33 エンジンオイルの作用②
	4	自動車のパーツ①	34 充電系統①
	5	自動車のパーツ②	35 充電系統②
	6	駆動方式①	36 エアバッグとシートベルト①
	7	駆動方式②	37 エアバッグとシートベルト②
	8	ライト関係①	38 模擬試験
	9	ライト関係②	39 模擬試験
	10	メーター関係①	40 まとめ・試験
	11	メーター関係②	
	12	足回り①	
	13	足回り②	
	14	MTとAT①	
	15	MTとAT②	
	16	エンジンの種類と構造①	
	17	エンジンの種類と構造②	
	18	燃料の種類①	
	19	燃料の種類②	
	20	ブレーキの仕組み①	
	21	ブレーキの仕組み②	
	22	ABSとTCS①	
	23	ABSとTCS②	
	24	自動車メーカー①	
	25	自動車メーカー②	
	26	新車売上ランキング①	
	27	新車売上ランキング②	
	28	工具の種類①	
	29	工具の種類②	
	30	ラジエーターの役割①	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
科目番号	8			
授業科目	自動車基礎			
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴			
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、基本的な自動車の知識・整備技術を身につけるための指導を行う。			
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	40回			
授業概要	自動車整備に関する計算と自動車工学の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習			
達成目標	自動車に関する基礎知識を身につける			
教科書	プリント・オリジナル教材			
特記				
授業計画	1	自動車数学 分数	31	自動車用語確認テスト①
	2	自動車数学 正負の数	32	自動車検定対策①
	3	自動車数学-文字式	33	自動車検定対策②
	4	自動車数学 方程式	34	自動車検定対策③
	5	自動車数学-割合と比	35	自動車検定対策④
	6	自動車数学-単位の換算①	36	自動車検定対策⑤
	7	自動車のサスペンション	37	自動車検定対策⑥
	8	自動車数学-単位の換算②	38	自動車検定対策⑦
	9	自動車数学-力学①	39	自動車検定対策⑧
	10	自動車数学-力学②	40	総合テスト
	11	自動車の燃料の種類		
	12	自動車数学-回転数①		
	13	自動車数学-回転数②		
	14	自動車数学-速度①		
	15	自動車数学-速度②		
	16	自動車数学-圧力①		
	17	自動車数学-圧力②		
	18	自動車数学-パスカルの原理		
	19	自動車数学-トルク①		
	20	自動車数学-トルク②		
	21	自動車数学復習①		
	22	自動車数学復習②		
	23	自動車数学確認テスト		
	24	自動車メーカー		
	25	自動車の販売状況		
	26	自動車用語①		
	27	自動車用語②		
	28	自動車用語③		
	29	自動車用語復習①		
	30	自動車用語復習②		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	9	
授業科目	自動車技術	
実務家教員授業	授業担当者：高野 克浩、中村 亘貴	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、基本的な自動車の知識・整備技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	実習車を利用して、自動車に関する基礎知識と技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する基礎知識と技術を身につける	
教科書	プリント・オリジナル教材	
特記		
授業計画	1	自動車の仕組み
	2	自動車の部品名称①
	3	自動車の部品名称②
	4	自動車の部品名称③
	5	オートリフトの使い方
	6	自動車の駆動方式
	7	ジャッキアップ①
	8	ジャッキアップ②
	9	タイヤ交換①
	10	タイヤ交換②
	11	日常点検－エンジンルーム①
	12	日常点検－エンジンルーム②
	13	日常点検－エンジンルーム③
	14	日常点検－ライト、ホーン、足回り①
	15	日常点検－ライト、ホーン、足回り②
	16	日常点検－タイヤの空気圧、亀裂、溝の深さ①
	17	日常点検－タイヤの空気圧、亀裂、溝の深さ②
	18	日常点検－エンジンのかけ方、かかり具合、異音
	19	日常点検－ワイパー、ウォッシャー
	20	まとめ・試験
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	10	
授業科目	ビジネス文書理解 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ビジネス文書、評論、エッセイなど様々な文章に触れ、読解力の向上を図る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	文章を速くかつ正確に読み取る	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ウォーミングアップ①
	2	ウォーミングアップ②
	3	ウォーミングアップ③
	4	ウォーミングアップ④
	5	ウォーミングアップ⑤
	6	ウォーミングアップ⑥
	7	短文を読み取る①
	8	短文を読み取る②
	9	短文を読み取る③
	10	短文を読み取る④
	11	短文を読み取る⑤
	12	図表を読み取る①
	13	図表を読み取る②
	14	図表を読み取る③
	15	図表を読み取る④
	16	図表を読み取る⑤
	17	復習
	18	中文を読み取る①
	19	中文を読み取る②
	20	中文を読み取る③
	21	中文を読み取る④
	22	中文を読み取る⑤
	23	中文を読み取る⑥
	24	復習
	25	長文を読み取る①
	26	長文を読み取る②
	27	長文を読み取る③
	28	長文を読み取る④
	29	長文を読み取る⑤
	30	復習
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	11	
授業科目	時事入門	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	15回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	時事用語①
	3	考え方①
	4	時事用語②
	5	考え方②
	6	時事用語③
	7	考え方③
	8	時事用語④
	9	考え方④
	10	時事用語⑤
	11	考え方⑤
	12	発表①
	13	発表②
	14	発表③
	15	発表④
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	12	
授業科目	国際文化基礎	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、協同作業を通じてコミュニケーション力向上を図る。	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	異文化理解に対する高い意識をもつとともに、積極的に自国以外の学生との交流を図ることができる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	日本文化と世界の文化①
	2	日本文化と世界の文化②
	3	日本文化と世界の文化③
	4	協同作業①
	5	日本文化と世界の文化④
	6	日本文化と世界の文化⑤
	7	日本文化と世界の文化⑥
	8	協同作業②
	9	日本文化と世界の文化⑦
	10	日本文化と世界の文化⑧
	11	日本文化と世界の文化⑨
	12	協同作業③
	13	日本文化と世界の文化⑩
	14	日本文化と世界の文化⑪
	15	日本文化と世界の文化⑫
	16	
	17	
	18	
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	13	
授業科目	会話力基礎	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	口頭練習と談話練習を重ね、基礎的な会話力を身につける	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的なビジネス場面における会話のスキルアップを図る	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	自己紹介
	3	自己紹介
	4	敬語
	5	敬語
	6	面接を受ける
	7	面接を受ける
	8	報告・連絡・相談の手法
	9	報告・連絡・相談の手法
	10	報告・連絡・相談の実践
	11	報告・連絡・相談の実践
	12	ビジネスの場面における会話
	13	ビジネスの場面における会話
	14	ビジネスの場面における会話
	15	ビジネスの場面における会話
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	14	
授業科目	文化リテラシー I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	言語知識の習得や読解に発表を組み合わせ、総合的な言語力を養う	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	聞き手との関係に注意し、それにふさわしい談話構成能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	異文化での気づき
	2	異文化での気づき
	3	経験からの学び
	4	国際交流
	5	異文化コミュニケーション
	6	インタビューに見るプロ意識
	7	インタビューに見るプロ意識
	8	インタビュー記事
	9	大切なもの
	10	温泉事情
	11	小説・エッセイを通じて考える愛
	12	小説・エッセイを通じて考える愛
	13	小説や映画のレビュー
	14	ある日のできごと
	15	ペットに関する社会事情
	16	データから考える社会
	17	データから考える社会
	18	データ分析
	19	学生生活
	20	格差社会
	21	言葉の裏にあるもの
	22	言葉の裏にあるもの
	23	言葉の裏にあるもの
	24	コミュニケーションスタイル
	25	若者のコミュニケーション
	26	発想の転換
	27	発想の転換
	28	小論文
	29	人や社会とのつながり
	30	求められる人材
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	15	
授業科目	文化リテラシーⅡ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	言語知識の習得や読解に発表を組み合わせ、総合的な言語力を養う	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	聞き手との関係に注意し、それにふさわしい談話構成能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	自己紹介と本当の自分
	2	自己紹介と本当の自分
	3	自己紹介と本当の自分
	4	自己紹介と本当の自分
	5	自己紹介と本当の自分
	6	若者の自己評価
	7	若者の自己評価
	8	若者の自己評価
	9	若者の自己評価
	10	若者の自己評価
	11	ジェンダーを考える
	12	ジェンダーを考える
	13	ジェンダーを考える
	14	ジェンダーを考える
	15	ジェンダーを考える
	16	ことばと文化
	17	ことばと文化
	18	ことばと文化
	19	ことばと文化
	20	ことばと文化
	21	働くということ
	22	働くということ
	23	働くということ
	24	働くということ
	25	働くということ
	26	環境のためにできること
	27	環境のためにできること
	28	環境のためにできること
	29	環境のためにできること
	30	環境のためにできること
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	16	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	25回	
授業概要	社会人として必要な聴解力を養うためにアカデミックな内容の長文を聴く	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	談話の内容を踏まえ、その結果や帰結などを導き出すことができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	読解①
	2	聴解①
	3	聴解②
	4	読解②
	5	聴解③
	6	聴解④
	7	読解③
	8	聴解⑤
	9	聴解⑥
	10	読解④
	11	聴解⑦
	12	聴解⑧
	13	読解⑤
	14	聴解⑨
	15	聴解⑩
	16	読解⑥
	17	聴解⑪
	18	聴解⑫
	19	読解⑦
	20	聴解⑬
	21	聴解⑭
	22	読解⑧
	23	聴解⑮
	24	聴解⑯
	25	聴解⑰
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	17	
授業科目	コミュニケーション技術	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数・授業時間	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	円滑な人間関係の基本となるコミュニケーションスキルを学び、演習を通してスキルの向上を図る。その上で、幼児期から児童期への発達段階に応じたコミュニケーションスキルを身に付けるための知識や技術を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識・スキルの定着を図る。	
達成目標	自己表現ができるようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	コミュニケーションとは
	2	コミュニケーションの必要性
	3	自己紹介①
	4	自己紹介②
	5	自己紹介③
	6	自己紹介④
	7	自己分析①
	8	自己分析②
	9	自己分析③
	10	自己分析④
	11	他己紹介①
	12	他己紹介②
	13	他己分析①
	14	自己の長所の抽出①
	15	自己の長所の抽出②
	16	会話技術の向上①
	17	会話技術の向上②
	18	会話技術の向上③
	19	会話技術の向上④
	20	会話技術の向上⑤
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	18	
授業科目	簿記入門 I	
実務家教員授業	—	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原則を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
	16	会話技術の向上①
	17	会話技術の向上②
	18	会話技術の向上③
	19	会話技術の向上④
	20	会話技術の向上⑤
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
科目番号	19			
授業科目	3級商業簿記基礎			
実務家教員授業	—			
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の目的	31	商業簿記総まとめ③
	2	簿記一巡①	32	商業簿記総まとめ④
	3	簿記一巡②	33	商業簿記総まとめ⑤
	4	商品売買①	34	商業簿記総まとめ⑥
	5	商品売買②	35	損益計算書および貸借対照表①
	6	現金および預金①	36	損益計算書および貸借対照表②
	7	現金および預金②	37	損益計算書および貸借対照表③
	8	手形	38	主要簿と補助簿①
	9	有形固定資産	39	主要簿と補助簿②
	10	その他の債権および債務①	40	主要簿と補助簿③
	11	その他の債権および債務②	41	主要簿と補助簿④
	12	税金	42	主要簿と補助簿⑤
	13	その他の勘定および訂正仕訳	43	主要簿と補助簿⑥
	14	株式会社の資本	44	伝票①
	15	確認テスト（第1回）	45	伝票②
	16	決算①（繰越商品および仕入の決算整理）		
	17	決算②（決算整理後残高試算表）		
	18	決算③（精算表）		
	19	決算④（有形固定資産の決算整理）		
	20	決算⑤（有形固定資産の決算整理）		
	21	決算⑥（有形固定資産の決算整理）		
	22	決算⑦（受取手形および売掛金の決算整理）		
	23	決算⑧（費用および収益の決算整理）		
	24	決算⑨（費用および収益の決算整理）		
	25	決算⑩（その他の決算整理）		
	26	決算⑪（その他の決算整理）		
	27	決算⑫（その他の決算整理）		
	28	確認テスト（第2回）		
	29	商業簿記総まとめ①		
	30	商業簿記総まとめ②		
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				